

### 新型コロナウイルスと妊娠、分娩、新生児 ～わかってきたこと、わからないこと～

川口市立医療センター 新生児集中治療科 **深間 英輔**



妊婦さんの感染率は同年代女性と差はなく、流産のリスクは高いものの、早産の発生率が高くなること、妊娠後期の感染では重症化リスクは高くなると言われています。妊娠後期にお腹が大きくなると、肺が圧迫されて呼吸状態が悪化するためです。集中治療や人工呼吸が必要になるリスクが3～5倍高くなると言われています。

妊娠中に感染した場合、胎盤を通じて赤ちゃんに感染する可能性は低く、胎児の先天異常の報告はありません。ただし、治療薬のなかには催奇形性が報告されているものもあります。分娩管理の問題から感染した妊婦さんは帝王切開での出生となり、赤ちゃんとお母さんの部屋は分けられることが多いです。母乳を介しての感染はありませんが、飛沫感染は認められています。一方で、感染予防策をしっかりとった上で、赤ちゃんとお母さんが一緒に過ごすことは可能とされます。たとえ感染しても赤ちゃんは重症化しにくいと言われています。

ワクチンに関しては妊婦さんに関する安全性は確認されておらず、接種の努力義務の対象から外れています。特に胎児の臓器がつくられる妊娠12週までは接種を避けるべきと言われています。医療関係者など感染リスクの高い妊婦さんの場合は相談となります。妊婦さんの感染経路の半数以上は同居家族からなので、家族が接種することは推奨されます。

確実に言えることは妊婦さん自身だけでなく、同居している家族も含めてマスク、手洗い、3密を避ける、ステイホームなどといった、感染予防策の基本を遵守することが極めて重要ということです。

### 新型コロナウイルス感染症と喫煙

高齢者や糖尿病・慢性腎臓病・呼吸器疾患・心疾患・高血圧などの持病があるかたのほか、喫煙者も新型コロナウイルス感染症で重症化しやすいと言われています。

#### 喫煙による影響

喫煙は、肺の機能や免疫機能を低下させ、呼吸器系の感染症で重症化する要因と言われています。新型コロナウイルス感染症では「非喫煙者に比べて人工呼吸器を装着する可能性が高まる、あるいは死亡してしまう危険性が3倍以上になる」と報告された研究もあります。



#### 喫煙所での感染リスク

新型コロナウイルス感染症の予防には、3密(密閉・密集・密接)を避けることが重要ですが、喫煙所は3密の典型的な場所であることが多く、また、たばこを吸うためにはマスクを外すとともに、手が口元に何度も触れるため、感染リスクを高めることとなります。



喫煙は、新型コロナウイルス感染症だけでなく、がん・心臓病・脳血管障害・糖尿病・認知症など多くの病気と関連があることも分かっています。自分のため、大切な人のため、「防げる死」を防ぐために、ぜひ、この機会に禁煙しませんか?

#### ～禁煙外来を受診してみませんか～

禁煙外来を実施している市内医療機関の一覧を市ホームページに掲載していますので、ご活用ください。

※禁煙外来の治療期間は、約3カ月です。  
健康保険を使って自己負担が3割になる場合の費用は、1万3千円～2万円程度です。



問地域保健センター ☎048-256-2022 FAX048-256-2023

## ワンポイント手話講座

今月は「自転車」と「歩く」を紹介します。

### 自転車

両手を握り、自転車のペダルをこぎように体の前で回します。



### 歩く

人差し指と中指を下に向け、歩くように交互に動かします。



問障害福祉課

☎048-259-7926

FAX048-259-7943



## 笑顔声を乗せて

ラジオDJ兼ナレーター 高橋 すみれさん

FM Kawaguchi 85.6 studio... 心地よいサウンドとともに始まる番組。ここは未広にあるFM Kawaguchi、地元川口のFM放送局。ここに、その声でいくつもの役を演じ、人々を楽しませる女性がいる。あるときはラジオDJ、またあるときはテレビのナレーター、そしてあるときは「きゅぼらん」の声を。私たちは川口市マスコット「きゅぼらん」の声を。川口市民ならおなじみの声だ。川口生まれの川口育ち、生粋の川口っ子が目指したのは女優の道。県立川口高校では、演劇部に所属。照明や大道具などの裏方まで部員がこなすのが高校演劇。その全てが一つになって作品となり、観客の反応を見るとなんともしえない喜びが生まれたとい

う。部活動の傍ら、貯金全額を叩き、都内の演劇スクールに通った。高校3年生の秋、目標であった県大会の予選を突破し、埼玉県高等学校演劇中央発表会に出場することができた。「審査員から『声がいい。特に低い方は抜群に安定感がある。』と言われたんですよ。あの言葉で人生が変わりました」。幼少期から絵本を朗読することが好きだったが、声が自分の強みだとは思っていなかった。「私の声に人に届くんだ。私の声で誰かを笑顔にしたい」と、演技と声優の専門学校に進んだ。卒業後には、川口商工会議所新キャラクターの声優オーディションを受け、約200人の中から合格。自分の声の仕事として通用する、自信に変わった瞬間だった。

この仕事をきっかけに地元川口に根付いた活動を積極的に行うようになる。そんな彼女に舞い込んだのが「きゅぼらん」の声の依頼。彼女の声は「きゅぼらん」のイメージにピッタリとはまり、もはや別の声になることは考えられない。唯一無二の存在となっている。「きゅぼらん」の声を聞いた子どもたちが笑顔になつてくれるのが本当に幸せ。私の声でみんなを笑顔にしたい。それだけなんです。「いろんなところをいって、たくさんの方のことをしりたいきゅぼらん」と二人(?)は語った。「私なんて脇役です。」と謙虚に話す彼女だが、その存在はもう川口市民の笑顔の立役者となっている。(彩)

